



中小企業・小規模企業支援施策が前進!

みやけ府議 商工労働常任委員会で質問

みやけ府議は、10月15日、所属の商工労働常任委員会において関係理事者に対し所管の政策課題について質問をしました。その概要は、以下のとおりです。

障がい者の雇用促進

Q 昨年4月に障がい者の雇用率の算定基礎に精神障がい者が追加され、民間事業主の法定雇用率は、2.0%から2.2%に引き上げられたが、全国的に見て依然として低い大阪府の達成率を改善するために、今後どのように取り組むのか。

A 各種セミナーや研修の機会を通じて精神障がい者雇用への理解を高め、働きやすい職場環境づくりを支援するとともに、特に従業員100人未満の中小事業の雇用促進に向け、きめ細かなサポートを行う。

▼大阪府議会ホームページ



詳しくは、大阪府議会「議会インターネット中継」から動画を配信しています。



就職氷河期世代への就業支援

Q バブル経済が崩壊し、雇用情勢が非常に厳しい時期に社会に出たいわゆる就職氷河期世代の方々に対し、国のプランでは、3か年で30万人の正規雇用を達成する目標を立てているが、大阪府として今後どのように取り組むのか。

A 大阪労働局、経済団体や支援機関等と連携し、支援対象者ごとの事業計画の策定や目標の設定など、具体的な支援策を検討する。

中小企業とSDGsビジネス支援

Q 本年度から実施の「SDGsビジネス創出支援事業」の取組み内容と今後の事業展開について伺う。

A SDGsビジネスに挑戦する企業と、支援者・協業者等とのマッチングの場を今年度計6回の開催を予定。事業化に着手した企業についても、3年を目標に事業を軌道に乗せられるよう、関係機関等と連携して継続的に伴走支援を実施、サポートしていく。

中小企業の事業承継支援

Q 経営者の約半数が後継者候補を確保できていない。親族以外の第三者への事業承継を支援強化することが重要であるが、大阪府として今後どのように取り組むのか。

A 来年度に向け、大阪府事業引継ぎ支援センターで「後継者人材バンク事業」を展開し、後継者のいない小規模事業者と創業希望者の情報をつなぐことで、地域における事業承継が進むよう努めていく。

国立循環器病センターを視察



公明党大阪府議団と熊野参議院議員は、11月6日、本年7月にJR京都線岸部駅前に新築移転した「国立循環器病センター(略称:国循)」を視察。

同センターは、循環器を専門とする我が国最先端の医療機関であり、医学研究機関です。この日、小川理事長、小林病院長より「国循」を中心とする「北大阪健康都市構想」の進捗状況や国循の概要と取組み等について説明を受けるとともに、ヘリポート、手術室、研究所等の院内施設を視察しました。

公明党は、国循の新築移転に際し、国会、府議会を通じて応援してきました。



▲手術支援ロボット・ダビンチの前に



▲トレーニング用3D心臓モデルの前に



▲屋上ヘリポートにて

大阪府議会議員

三宅 史明
みやけ 史明

●プロフィール
 公明党大阪府本部幹事会会長
 〃 東淀川支部長
 大阪府議会商工労働常任委員

・昭和29年9月大阪市生まれ
 ・上宮高校、創価大学法学部卒業
 ・東京都世田谷区役所、大阪府庁勤務を経て、平成7年大阪府議会議員選挙初当選、現7期
 ・区内北江口2丁目在住

●みやけ史明 府政相談事務所

お役に立ちます。お気軽にご相談を。

〒533-0013
 大阪市東淀川区豊里6-29-7
 久ービル7F
 TEL 06-6370-1135
 FAX 06-6370-2257
 (平日:9:00~17:00)

